

## 課題研究の評価ルーブリックの刷新

鹿児島県立国分高等学校

今年度からSSHルーブリックの内容や使い方についてSSH委員会で校長講話を行い、あわせて現ルーブリックの訂正についてより本校のSSH事業の目的に準拠した評価について協議し、以下のように変更した。その後、全ての評価アンケートは新ルーブリックに基づいて行っている。

表1 令和2年度鹿児島県立国分高等学校SSH事業評価全般に活用するルーブリック

国分高校 SSH研究課題名

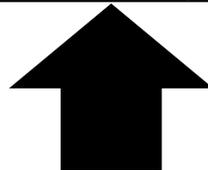
「霧島から世界へ サステナビリティの視座を持った科学系人材の育成プログラムの研究開発」

目指す生徒像

「世界の持続可能な発展のために 発見 思考 協働」

ルーブリック表

段階	項目	1	2	3	4
		不十分	やや不十分	概ね十分	十分
		指示されたことができない	指示されたことを実践できる	自主的に活動し、自分のものになっている	学習活動から発展し、周囲にも影響を与える
1	課題発見力	あらゆる学習・事象に興味・関心が薄いため、自分からの視点からの課題を発見することが困難である。	いくつかの学習・事象に関心を示すが、相互に関連付けたり、深めたりしようとせず、周囲に促される形でテーマや仮説を設定した。	あらゆる学習・事象に興味・関心が高く、自らの現代社会への課題認識と関連付けながらテーマを発見し、仮説を設定しようとする。ただ進路意識との関連が不十分である。	あらゆる学習・事象に興味・関心が高く、現代社会への課題認識と自らの進路意識と関連付けながら独自の視点でテーマを発見し、仮説を設定しようとする。
2	情報活用力	仮説や課題への意識が不十分で、収集した情報に統一感がない。そのため、収集した情報を整理・活用できず、考察を深めるに至らない。	仮説や課題への意識はあるが、情報探査への意欲が不足する。そのため、示された範囲でしか情報を収集せず、考察に一定の深まりが浅い。	仮説や課題への意識が高く、多様な媒体から必要な情報を探査・収集し、適切に分析や分類するが、結論に至る考察に深まりが十分とはいえない。	仮説や課題を検証すべく、多様な媒体から必要な情報を探査・収集し、適切に分析や分類して、一定の結論に至るため、粘り強く考察を進めている。
3	ファシリテーション能力	探究の共同学習において、貢献の意欲が見られず、ネガティブな発言も多く、チームでの探究推進において妨げとなる。	探究の共同活動において、主体性を持たず、他の意見に流されて、チームでの探究推進への貢献は不十分である。	探究の共同学習において、牽引役とはならないが、自分の役割を理解し、探究の進歩や深化・拡充に一定の貢献をしている。	学習活動において、自分の役割に責任を持ち、牽引力もあり、協働で行う探究の進歩や深化・拡充に多大な貢献を果たしている。
4	表現力	仮説と考察を軸に、複数情報の整理ができず、プレゼンや論文でわかりやすく伝える工夫ができていない。	自分の行った課題研究や学習に関して収集した情報等の整理に努めているが、分かりやすい発表(プレゼンや論文)に至っていない。	自分の行った課題研究や学習を、他者にわかりやすく伝えるために、プレゼンや論文において、資料や発表への工夫があるが、インパクトが薄い。	自分の行った課題研究や学習を、他者にわかりやすく伝えるために、必要かつ効果的なプレゼンや論文記述の方法を試みるなど、資料や発表への工夫が顕著である。
5	サステナビリティ認識力	サステナビリティの意義の理解が不十分で、自らの探究活動と持続可能な発展の関係性について関連して考察することが全くできない。	サステナビリティの意義をある程度理解しているが、自らの探究活動と持続可能な発展について、その関連付けが不十分である。	サステナビリティの意義を十分に理解し、自らの探究活動において、持続可能な発展と関連付けているが、一般論で深まりが十分ではない。	サステナビリティの意義をよく理解し、学習活動や課題研究等SSH諸活動において、社会の持続可能な発展という視座を十分に持ちながら、自らの探究を進めている。



更新

表2 令和元年度鹿児島県立国分高等学校SSH事業評価全般に活用するルーブリック

国分高校 SSH研究課題名

「霧島から世界へ サステナビリティの視座を持った科学系人材の育成プログラムの研究開発」

目指す生徒像

「世界の持続可能な発展のために 発見 思考 協働」

ルーブリック表

段階	項目	1	2	3	4
		不十分	やや不十分	概ね十分	十分
		指示されたことができない	指示されたことを実践できる	自主的に活動し、自分のものになっている	学習活動から発展し、周囲にも影響を与える
1	好奇心	あらゆることに興味・関心がなく、知的な好奇心に乏しい。	自らが興味・関心を持っていることに対して好奇心があり、そのことを主体的に調べることができる。	学習内容や、身近な問題に対して好奇心が強く、自らの課題発見に繋げることができる。	あらゆることに好奇心が強く、身近な問題や、グローバルな課題を自ら積極的に調べ、理解し、課題発見に繋げることができる。
2	チャレンジ精神	何事にも消極的であり、行動しようとなない。	自ら興味・関心があることや、自信があることに対して挑戦することができる。	物事に対して積極的にであり、様々なことに対して挑戦しようとする姿勢がある。	何事にも積極的にであり、情報を的確に分析し、課題解決の方法を考察した上で、困難なことにも挑戦し、成功することができる。
3	情報収集力・分析力	収集した情報に統一感がなく、情報ソースもきわめて少ない。また、収集した情報を活用できず、事実と意見の区別がつかない。	課題に関連する情報を、学習活動の中で指示された範囲で収集することができる。自分の意見を持つことができる。	課題解決に必要な客観的な情報を認識・収集し、その情報を分類・整理することができ、課題解決までの道筋を考えることができる。	課題解決への仮説を持ち、複数の情報ソースから収集した情報を効果的に活用しながら、論理的に検証を行い、次の課題発見に繋げることができる。
4	表現力	資料や発表に統一感がなく、伝えたいことが不明である。	収集した情報や考察を資料にまとめ、発表することができる。	収集した情報やその分析結果に対して、わかりやすい資料を作成し、発表することができる。	収集した情報や分析を、他者に効果的に伝えるために複数のメディアを活用するなど、資料や発表に工夫がある。
5	ファシリテーション能力	先入観を持ち、ネガティブな発言が多く、協働的な活動の合意形成において妨げとなる。	協働的な活動には加わるが、自分の意見を持たず、合意形成において他の意見に流されることが多い。	まわりの意見をよく聞き、自分の意見も発言しながら、合意形成にむけての活動を促進しようと努力できる。	リーダーシップを発揮し、議論をまとめるために、論理的思考を駆使して論点を細分化し、合意のための条件を特定できる。

指導者用アンケートⅠ（各活動について）

活動や行事等（ ） 実施日（令和 年 月 日～ 月 日 ）  
担当者氏名（ ）

今回の生徒の活動内容全般について評価をしてください。該当する番号を○で囲んでください。

1 全くできなかった 2 あまりできなかった。 3 ある程度できた。 4 十分にできた。

1 生徒たちは興味・関心をもって学び、現代社会や自らの進路に関する課題意識をもって活動できていた。（課題発見力）

1 2 3 4

2 生徒たちは説明や講義、配布資料等について自らよく吟味・分析して、さらに必要な場合は新たな情報を収集・分析しながら、主体的に考察を進めることができていた。（情報処理力）

1 2 3 4

3 生徒たちは、それぞれの役割に責任を持ち、全体やチームの探究活動を深化・拡充するように貢献することができていた。（ファシリテーション力）

1 2 3 4

4 生徒たちは、それぞれの疑問等について適宜質問や相互に相談して解決を図ることができた。または、意見発表の場があれば、他者にわかりやすく伝えるため、プレゼンや説明において工夫することができていた。（表現力）

1 2 3 4

5 生徒たちは、社会が持続的に発展するために少しでも貢献したいという意識を持ちながら、自らの活動に取り組むことができていた。（サステイナビリティ力）

1 2 3 4

令和2年7月24日（金）

## 霧島ジオパーク研修 自己評価（生徒用）

2年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

次の質問に対して自己評価をしてください。該当する番号を○で囲んでください。

1 全くできなかった 2 あまりできなかった。 3 ある程度できた。 4 十分にできた。

☆なお、自己評価は、あまり考え込まずに自信をもってつけてください。

- 1 今回の研修に大変興味・関心があり、学んだことについて現在の自然環境や社会の問題あるいは自分の進路目標を関連付けることができた。

1 2 3 4

- 2 フィールドワークの説明や配布された資料などから得た情報を自分なりに考察することができた。

1 2 3 4

- 3 共同学習における自分の行動に責任を持ち、全体の動きも確認しながら活動することで、様々な場面で活動の活性化に貢献することができた。

1 2 3 4

- 4 今回の研修で学んだことや疑問について、友人や先生方に聞いたり、話したりして解決することができた。

1 2 3 4

- 5 今回の研修における学習活動を通して、霧島の自然環境について「これからも守らなければならない遺産（サステナビリティ）」として意識して、その観点から活動に取り組むことができた。

1 2 3 4